

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/04/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.59	-0.04
JPY/THB	0.2345	-0.0006
USD/JPY	143.21	0.15
EUR/THB	37.89	-0.25
EUR/USD	1.1282	-0.0069
USD/CNH	7.329	0.017
SGD/THB	25.48	-0.05
AUD/THB	21.32	0.04
USD/INR	85.77	-0.28
USD Index	100.22	0.58

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.704	0.000
10Y (THB)	1.985	0.000
5Y (USD)	3.986	-0.026
10Y (USD)	4.333	-0.041

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,218.7	13.9
WTI (Oil)	61.33	-0.2
Copper	9,164.0	-23.0

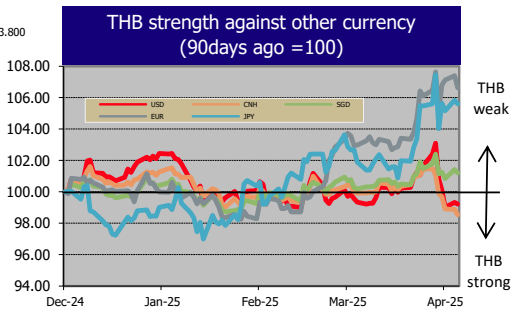
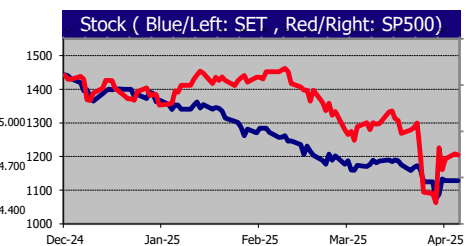
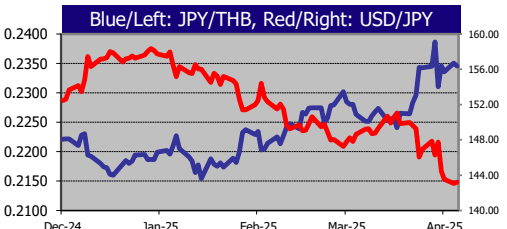
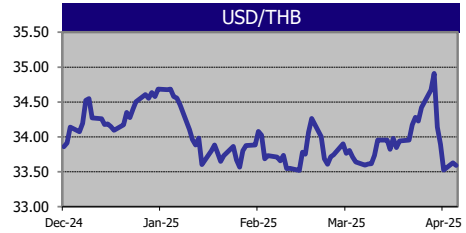
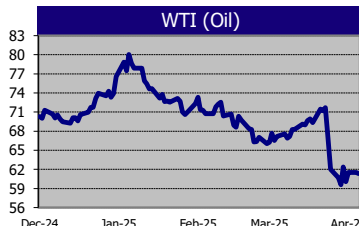
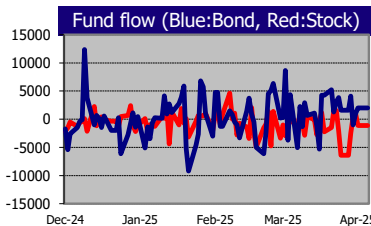
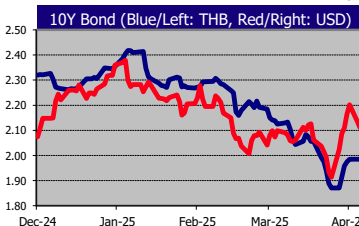
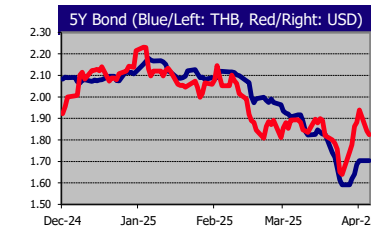
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,128.66	0.00
NIKKEI (JP)	34,267.54	285.18
DOW (US)	40,368.96	-155.83
S&P500 (US)	5,396.63	-9.34
SHCOMP (CN)	3,267.66	4.85
DAX(GER)	21,253.70	298.87

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,141)	0.0
Bond net flow	1,995	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

11日(金)のドルパーツは下落。33パーツ台後半の水準で取引を開始すると、米国市場におけるトリプル安の流れを引継ぎ、上値重く推移。中国が対米報復関税を発表したこともドル安を加速させ、33パーツ台半ばの水準で週末の取引を終えた。14日(月)、タイはソンクラン休暇となる中で、ドルパーツの水準は変わらず。米関税政策について、家電製品等への緩和措置が報じられ、リスクセンチメントは改善するも、Fed高官による早期利下げの可能性を示唆するコメント等を受け、米金利が低調な推移を見せる中で、上値の重さは継続。33パーツ半ば付近での推移が続いた。15日(火)、引き続きタイは休日となり、特段新規の材料も見当たらない中で、33パーツ半ばでの推移が継続。そのまま33.59レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

11日(金)のドル円は米関税政策の動向に上下するも、水準は変わらず。143円半ば付近で取引を開始。序盤はドルが売り込まれ、一時142円台前半まで下落。海外時間に入り、米経済指標の市場予想対比強い結果が続き、144円ちょうど付近まで上昇する場面が見られるも、終盤にかけては反落。結局143円半ばと、オープンとほぼ同水準で週末の取引を終えた。14日(月)、本邦当局者より「為替については日米財務相の間で緊密に議論していく」との発言が確認された場面では一時142円台半ばまで下落。一方で、海外時間に入ると米株の上昇を背景に144円ちょうど付近まで上昇する等、相応の値幅を伴った動きを見せるも、終盤にかけては143円ちょうど付近での推移に落ち着き、そのまま同水準でクローズ。15日(火)、目新しい材料ない中で142円半ばから143円半ばのレンジで推移。そのまま143.21レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

タイではソンクラン休暇明けとなりますが、市場は連日関税関連の報道で不確実性の高い状況が継続しています。米中のみならず米対各国の貿易戦争が進むと安全資産としてのドルの信認が低下するとの見方も出てきており、株下落、金が大きく上昇するいわゆるリスクオフ局面でドルが下落しています。週明けの14日にはFRBのウォー理事の講演があり、関税が非常に高いシナリオが継続場合は、景気後退のリスクがインフレ悪化のリスクを上回ると考えており政策金利を引き下げることを支持するとの内容を受けて米債売りは一旦落ち着きを見せています。ただし、トランプ政権が高い関税を望み米国内での製造業の復活を目指すのか、交渉ツールとして高い関税を示したものの最終的に10%程度で落ち着くのかにより方向性が大きく変わります。かつ、90日の猶予期間でどのような進展があるかも現時点では不透明な状況となっています。市場の相関が崩れて動きが読みにくい中で、リスクをできるだけ抑えるということに重点をおきたいと考えます。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.